

# 弓道場での注意事項

- 道場内では、指導者及び責任者の指示に従い、他者の迷惑になる言動を慎むこと
- 行射の際は、矢道、安土<sup>あづち</sup>及びその周囲の安全確認を行うこと
- 矢取りの際は、射手と相互に安全確認を確実に言い、必ず自らの目で最終確認をすること
- 巻き藁<sup>まきわら</sup>行射の際は、巻き藁と距離（弓一丈<sup>ゆみいちじょう</sup>）をとり、その周囲の安全確認をすること
- 弓を張る際は、周りに人が居ない事を確認し、正しく張ること
- 弓道具の持ち歩きの際は、安全に注意すること
- 練習前には、必ず以下の弓道具点検を行うこと

巻き藁

- ・周囲の跳ね返り防止措置がなされているか
- ・巻き藁内部の詰まりや、矢が抜ける恐れがないか
- ・巻き藁専用の矢を使用しているか

矢

- ・自分の矢尺<sup>やじゃく</sup>にあっているか
- ・矢自体に破損はないか（筈<sup>の</sup>・筈・矢尻等）
- ・矧ぎ糸<sup>はぎいと</sup>、筈巻き、羽根が取れていないか

弓

- ・弓肥<sup>きゅうは</sup>の高さは正確であるか
- ・弓自体に破損はないか

かけ

- ・かけ自体に破損がないか

※ 事故は正規の練習よりも自己練習の際に起こる場合が多いので、危険性を十分に考慮した行動を心掛けること。